

令和元年度相談役・役員20名各位

令和 2年 12月 6日

ⓧ 委 員

逆瀬台小学校区まちづくり協議会
「ゆずり葉コミュニティ」
会長 石谷 清明
TEL 0797-20-5054

逆瀬台小学校区まちづくり協議会「ゆずり葉コミュニティ」

12月度 役員会

日 時：令和元年 12月6日（日） 10：00～12：00

場 所：逆瀬川グリーンハイツ 集会室

≪ 議 題 ≫

1,報 告

- (1) 10/4(日)「10月度定時役員会議事録」について (書記)
資料 P1～P4
- (2) 9/9(水)、10/14(水)「まちづくり協議会代表者交流会議事録」報告 (会長)
資料 P5～P16
- (3) 11/11(水)「まちづくり協議会代表者交流会レジュメ」報告 (会長)
資料 P17～P21
- (4) 10/4(水)「福祉ネットワーク会議」について報告 (資料配付) (社協)
- (5) 第1回「助け愛・デリ」について (会長)
- (6) 令和3年1/1発行「ゆずり葉だより」新年第102号について (事務局長)
納品：12/23(水)午前中⇒午後より、随時引き取りしてください。
引取り場所⇒前回同様、阪急逆瀬台マンション1階ロビー(戸建て及び宝梅園団地)
及びグリーンハイツ管理人室前(白瀬川沿い8マンション)

2,議 案

- (1) 赤い羽根共同募金会より、ゆずり葉コミュニティへ募金のお願い (会長)
11月16日(月)の5役会で意見交換した結果、各自治会では、既に対応しており、
来期のイベント時に募金箱を置課せて頂くという考え方になった。
- (2) 令和3年度会長の選出について⇒11月16日(月)5役会にて、石谷を選出。
⇒役員会での承認を求める。 (相談役)
なお、令和3年度各役員・委員の選出については令和3年2月7日(日)に決議予定。
- (3) 令和2年度「活動助成金」報告について⇒令和3年2月12日(金)締め切り
①「活動助成金報告書」②「経理支払い票」(領収書貼り付け)
各活動団体の代表者には、別途ご通知いたします。 (活動局長)

3,次回役員会 令和2年2月7日(日)10：00～12：00 (会場は後日通知します。)以上

10月4日（日）令和2年度の「福祉ネットワーク会議」議事録

日時：令和2年10月4日（日）10時～12時

会場：逆瀬川グリーンハイツ集会室

出席：市役所 市民協働推進課 小川、地域福祉課 山崎、社協 大関、包括 中原、山岡、永田他1名
宝塚高校校長 森田、逆瀬台デイサービスセンター 山浦、民生委員 戸田、菅原、前田、薬師寺、
小島、石谷（幸）、宝塚市健康推進員 赤坂、金城、ゆずりは会 奥村、高島、仲
光ガ丘自治会 古泉、西澤、青葉台自治会 吉田、林、北川、逆瀬台自治会 井篁、大澤、浅田、
宝梅園団地 石原、アヴェルデ 大迫、宮村、篠原、中川、グリーンハイツ 柳瀬、遠藤、西山住宅
近藤、シャンティ 榎原、川島、パークM 沖田、竹内、逆瀬台住宅 小松、逆瀬川M 山本、
阪急逆瀬台M石谷（清）記
20団体から41名の参加

（敬称略、順不同）

（内容）

「福祉ネットワーク会議」とは、何かご存じですか？地域の福祉課題、特に社会的に支援を必要とする方々（高齢者、障がい者、児童など）の生活課題に焦点を当て地域住民と福祉・保健・医療の関係者が連携をとり、誰もが住み慣れた地域で自立した生活を送るためには、どうすればよいかを考えていく会議です。

今年もゆずり葉コミュニティを構成する各団体(20 関係団体)の方々約 50 人が参加され、昨年に引き続き、「見守り」をテーマに、三密対策をした上で6つのグループに分かれて話し合いを行いました。

■前半は、各関係者からのお話

- ・ゆずり葉コミュニティ地域の現状と「まちづくり計画」について：ゆずり葉コミュニティ 会長石谷
- ・各6グループ自己紹介と「日常の中の気になる人、事」の話し合い：古泉活動支援局長
- ・「見守り」について：宝塚市社会福祉協議会逆瀬台地区センター 大関氏
- ・「見守り」活動の事例発表について：逆瀬川グリーンハイツ自治会 柳瀬副会長
- ・「高齢者のみならず子どもや障がい者の「見守り」について」：逆瀬川地域包括支援センター 中原所長

■後半は、グループワークの進め方について大澤特命部長から説明があり、自分たちにできること、今後必要なこと、どのような地域にしていきたいかの話し合い、6つのグループに分かれ、前半の話を聞き、日頃の様々な地域活動、見守りささえあい、居場所づくりの活動について話し合い、情報共有や、活動中での課題など活発に意見が出されました。各グループでの話し合いのまとめについては、次のようなご意見、具体的なアイデアを出していただき、皆で全体共有しました。

😊グループワークの意見（各グループ意見を抜粋し、【高齢者】【子ども】【見守り】【障がい者】【その他】にまとめました。）

【高齢者】

- ・〈事例〉本人が「安心キット」に内容記入せず冷蔵庫に入れていたため、個人情報の入手が遅れてしまった。→必要性を理解してもらった上で普及するべきである。
- ・不安を感じるような歩き方の人がいる。荷物を持って部屋まで同行する事もある。
- ・買い物へ行く姿を見かけなくなると、コロナで外出していないから歩けず、介護認定の申請に繋ぐこともある。

- ・住民によっては自立心が強く、困り事があっても頼る事が少ない人もいます。日頃のさりげない見守りが必要。
- ・今は特にコロナで連絡が取り辛い。高齢者で、入所された方との繋がり維持が難しい。

【子ども】

- ・地域の高校生とも一緒に地域活動していけたら、地域で子供たちが育つ。
〈事例〉高校生が地域の高齢者（認知症）の方を、家まで付き添ったことがあった。
- ・ラジオ体操等イベントを行うことで、子どもを連れて参加する世帯の状況把握をしたい。次に会った時に挨拶できることで繋がっていけると思う。
- ・通学の見守りが地域で偏っている。全地域に広がりを持たすべきである。⇒児童育成会パトロールボランティアの募集はしているものの減少傾向。
- ・登下校時の見守りが少ない。保護者が当番で立っているが、生徒数が少なくなり、毎月当番が回って来る状態で、仕事をしていると負担が大きい。他の小学校では、年2回程度と聞いた。地域によっては住民が見守り支援をしてくれているところもある。自分の子供は3人で下校するが、男子は走って帰ってしまい、娘1人で歩いて帰ってきているので心配。
- ・ゆずり葉公園横の道で（子ども？を）盗撮する不審者を見た事がある。近隣に子どもの友達が少なく、1人で外出が難しいので（見守りに）来てもらいたいが、難しいようだ。横断歩道の旗を見る事が減ったが、設置した方がよいのではと思われる。

【見守り】

- ・コロナ禍で引きこもり、地域差（急斜地等）もあるので、見守り方法が難しい。→回覧板やゴミ出しなど自然に声かけしてみる。
- ・見守りの活動を続け、1日1回は声を掛けている人もいます。
- ・民生委員活動を通じて、世帯の状況を把握してきた。それが今も生きている。
- ・見守りを許さない、拒否する人がいるが、どうしたら良いかが課題。⇒1人でも多くの人に伝えるという精神で、めげずに情報発信していく必要がある。
- ・〈事例〉近所付き合いで鍵を預かり見守りをしていた人が、見かけないので訪問すると応答がなく、中で倒れておられた。⇒命に別状はなかったが、見守り方法が緩く発見が遅れてしまったのを反省している。
- ・近所付き合いの中で、信頼関係が自然と構築されている人は見守られているが、孤立してしまっている人の見守りは十分にできているのか疑問。
- ・地域の中で不審者情報等に過敏になり、地域交流が希薄のため地域の中で気になる人（子）がいた場合に、安易に声を掛けると不審者扱いをされる可能性もありできない。→普段からまず挨拶を心がけて関係を築くことが必要。
- ・挨拶はお互いにしましょう。
- ・宅配弁当の配達の仕事をしているが、認知症と思われる方とのコミュニケーションが難しい。高齢者への声掛けで、「どうされましたか」と聞くと、「大丈夫です」と答え、話が續かない。

【障がい者】

- ・地域での障がいをお持ちの方に対する支援が足りていないのではないかな。

【その他】

- ・見守りの活動を続け、1日1回は声を掛けている人もいる。
- ・隣近所との関係が希薄化し、世代が分断されている気がするのと、担い手がなかなか見つからないし、頼り頼られる習慣が続かないのが課題。⇒見守る人の人材を増やし、世代を超えた繋がりを作っていけたらと思う。
- ・公園をもっと遊びやすい場所にしましょう。⇒清掃、草刈等環境整備が必要。
- ・地区委員が①ポスティング②集金③状況、見守りを行っている。
- ・問題の所在が分かりづらい家庭に対してどう対応していくか課題。⇒包括に相談し、ネットワークを利用する。
- ・災害に関して、危険地域に住んでいる住民がいるので気になっている。地域内にカメラは設置した。
- ・自治会を抜きたいと言う高齢者が多い。
- ・独自の活動としてコープの移動販売や送迎支援を行っている。

😊参加者へのアンケート結果

(1) ご参加頂いてのご感想について。

- ・大変地域の強いつながりを感じた。
- ・初めての参加だが、こんなに多数の方(団体)が熱心な話し合いをされているに驚いた。地域が抱える問題に取り組み力が、ゆずり葉コミュニティの中には存在していると感じた。
- ・各地域の方々といろんな意見を聞くことができ、大変参考になった。これからは高齢者だけでなく、若い人との関係も考えていきたいと思う。
- ・年1回は、今後も必ず行ってください。
- ・見守りの大切さはよくわかるが、自分が積極的にかかわっていない。仕事を終えて何ができるか考えたい。こういう人が多いのではないかと思う。
- ・今回初めて出席し、活動状況を把握できた。各自治会員へ伝達し、良い方向に向かうことを念頭に置き、活動させていただく。
- ・皆さんが地域の見守りや活動に関心を持っておられ、また問題を解決すべく、取り組んでおられることに感銘を受けた。だがここに来られているのは、一部の「意識を持っておられる」方で、それ以外の(関心の薄い方)をどう巻き込むかは、簡単に解決する問題ではないと改めて感じた。
- ・時間配分の関係で、少し掘り下げができなかった。
- ・今後とも積極的に参加させてください。
- ・色々な役割をされている方々からのお話を聞いて、情報も多岐にわたっており、学ぶことも多く、大変役に立った。
- ・この地域の高齢化率が高いことを、数字を聞いて実感しました。
- ・高齢者の多い地域での見守りの大切さを理解し、皆さんが関心を持っておられることを痛感した。

(2) 今後、地域の皆で考えたい、話し合いたい事について。

- ・各自の認識を高めるための討議を重ねる必要がある。
- ・近所同士のコミュニケーションが希薄になっている。どうすれば良いか、若い方の参加を得て、話し合えると良いと思う。
- ・子どもと高齢者によるつながりを増やしたい。ボランティアでお手伝いできることが具体的にどのくらいあるのか明確にしてほしい。
- ・見守りの輪を広げる方法を話し合ってはどうか。
- ・地域にある高校を活用いただき、またそのことが生徒の成長につながることを期待している。

以上

逆瀬台小学校区まちづくり協議会「ゆずり葉コミュニティ」10月度 役員会議事録

日 時 令和2年10月4日(日) 11時30分～12時30分
場 所 逆瀬川グリーンハイツ集会室

会長 石谷の説明で議事進行

報 告

- (1) 8/2(日)「8月度役員会議事録」について 石谷より報告 異議なし
- (2) 7/8(水)、9/9(水)「まちづくり協議会代表者交流会」報告について 石谷より報告
※コロナ禍で各まち協がどのような活動をしているのかを発表。
- (3) 令和3年1/1付発行の「ゆずり葉だより」新年第102号について濱崎事務局長より報告

(原稿募集締切り) 11/4(水) (納品) 12/16(水)午前中。⇒変更の可能性あり。

(引取り) 戸建て及び宝梅園団地の分は配付場所がコミュニティルームで廊下の下駄箱の上に置く。毎週 火・木・日 14時～15時にコミュニティルームの鍵が開いている。

白瀬川兩岸の8マンションはいつもの要領で、グリーンハイツ管理人室前に置く。

※ただし、コロナの影響で、配付日及び配布場所が変更になる可能性があり、

12月6日(日)の次回役員会にて報告する。

議 案

- (1) 令和2年度「助け愛・デリ」実施について 会長より説明。年末に光ガ丘自治会対象に逆瀬台デイサービスセンターの手作り弁当を1個500円で配付する。
- (2) 「まちづくり計画」の実施について⇒第2回「見守り」話し合いと、防災取り組みアンケート実施について会長より説明。10月31日(土)締め切り。

そ の 他

- (1) 役員会終了後、「白瀬川兩岸集合住宅協議会」役員会を開催。
- (2) 次回役員会は、12/6(日)10時～12時(逆小コミュニティルーム〈予定〉)(会長)
※コロナの状況によって「だより」も含め、今回と同じ要領になる可能性があります。

以 上

宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和2年度・第2回）議事概要

日 時 令和2年9月9日（水）14：00～15：30
場 所 中央公民館 203、204 学習室
出席者 仁川まちづくり協議会 綿 昭人会長
宝塚市高司小学校区まちづくり協議会 川島 昭会長
宝塚市良元地区まちづくり協議会 中 義昭会長
宝塚市光明地域まちづくり協議会 田村 幸雄会長
宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会 加藤 富三会長
宝塚市西山まちづくり協議会 久保田 洋一会长
まちづくり協議会コミュニティ末広 豊田 茂男代表
宝塚第一小学校区まちづくり協議会 中谷 修会長
逆瀬台小学校区まちづくり協議会 石谷 清明会長
宝塚市すみれガ丘小学校区まちづくり協議会 川上 操代表
宝塚小学校区まちづくり協議会 喜多 毅会長
売布小学校区まちづくり協議会 笹田 光治会長
小浜小学校区まちづくり協議会 藤本 真砂子会長
宝塚市美座地域まちづくり協議会 梅村 諭代表
安倉地区まちづくり協議会 岡本 康夫会長
宝塚市長尾地区まちづくり協議会 久保田 久男会長
中山台コミュニティ 畑中 康治会長
宝塚市山本山手地区まちづくり協議会 （代理）奥野 廣明代表補佐
宝塚市長尾台小学校区まちづくり協議会 松原 孝彦会長
宝塚市西谷地区まちづくり協議会 二井 久和会長
市民協働推進課 鈴木 他
宝塚NPOセンター 馬越 他
宝塚市社会福祉協議会 牟田事務局長、藤井課長

議事概要（要旨）

1 宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和2年度・第1回）議事概要の確認

各まちづくり協議会代表者により、上記議事概要の確認が行われ、ホームページへの公開が承認された。

2 コロナ禍における地域活動について

- (1) 各まちづくり協議会代表者から会議の開催、地域ごとのまちづくり計画の具体的な取り組みの実施、その他の活動において、コロナ禍の中で工夫していることや困っていることなどについて、資料に基づきご報告いただいた。

概要については、以下のとおり。

【仁川】

- ア 7月、8月の活動委員会は中止。
- イ 部会を開き、その中で今後の状況等について話し合ってもらい、報告してもらう。
- ウ 部会を前半、後半の2部制にする。
- エ 9月以降の活動の進め方について、①中止②実施（予定）③検討継続等に分けて確認していく。
- オ 活動委員会の開催の是非、開催する場合の開催方法等について検討を行う。

【高司】

- ア ネットワーク会議を実施。行政から自粛するというお知らせが来ているため、行事等行ってはいけないのではないかとという雰囲気が強い。責任が実施した団体に来てしまうので委縮してしまっている。そのような状況ではだめではないかという意見が出ている。
- イ 3密を防ぎながらできるようなイベントを計画しつつあるところである。

【良元】

- ア ビッグイベントは原則として中止するが、コロナの動向によっては、一部分散型の小規模開催も検討する。
- イ 3密対策をしつつ、役員会及び理事会で分野ごとにまちづくり計画の課題整理を行う。
- ウ リモート会議の仕組みづくりに関して、ニーズに関するアンケートを実施したところ、10件ほど、後押しがあれば開催してもよいという感触を得ている。この点については、行政と相談しながら進めていきたいと考えている。

【光明】

- ア 8月に見直し後のまちづくり計画を地域内すべての世帯（約2,200世帯）に配布し、4つの班に分かれて説明会を計画しました。コロナ禍での会場設営についてどこまで配慮すべきか戸惑いながら開催した結果、参加人数は低調であった。安心しつつも、周知の方法や地域の声の収集について、改めて検討しなければいけないと考えている。他のまちづくり協議会の取組を参考にしたい。

【未成】

- ア 基本的には、感染症予防対策を実施した上で、通常通り会議やイベントを実施している。
- イ 夏休み宿題広場の実施に当たっては、参加人数を事前に把握した上で、4部屋を確保し、換気の時間も設けた上で実施。
- ウ 地域食堂については、その場で一緒に食べることはやめ、パン・ジュース・ゼリーを配布し持ち帰る形とした。
- エ 小学校の体育館や運動場の利用について、教育委員会が登録団体以外に貸さない方針を取っているため、3密を避けるために広い場所でイベント等を行うことができず、まちづくり協議会の活動の妨げになっている。9月中には結論を出すということを教育委員会は言っている。早期に結論を出してほしい。まちづくり協議会としては年間計画を立てて活動しているため、教育委員会から代表者交流会で事前に説明があつてしかるべきである。市民協働推進課にもその点お願いしたい。

【西山】

- ア 7/8（水）に総会を実施した。
- イ 運営委員会は、5月は中止したが、その後はできるだけだけの対策をした上で実施している。
- ウ 介護予防体操教室は人数制限を行っている。
- エ コーラス活動については、ハミングで実施する予定であったが、距離を取った上で歌うこととなった。
- オ 可能な感染症対策を講じながら、できることを再開していくという立場でやっていく。
- カ 防災の取組で参考になることがあれば教えていただきたい。

【末広】

- ア 防災訓練、夏祭り、ビアガーデンは中止。
- イ 各部長に集ってもらい、問題点を共有した。

- ウ 福祉健康部は全行事の実施を断念した。
- エ 第一部も見通しが立っていない状況である。
- オ 小学校6年生を送る餅つきについても、実施は難しいと感じている。

カ 夏祭りは行わないが、これまでの課題であった祭りで使う照明について電気屋と話し合いながら検討を行っている。

【宝塚第一】

- ア 第6次総合計画の前年として、地域ごとのまちづくり計画の新規テーマについては活動の企画立案を進める。継続テーマに関しては、地域団体、住民とより一層連携を深めるための活動を実施中である。
- イ 年度計画を作成する段階で、まち協全体行事（夏まつり・合同防災訓練）を中止としたが、部会及び部会間の協力で小規模行事を実施中。
- ウ コロナ感染症防止を考えた地区防災委員会の開催を考えたり、防災学習会を3回ほど計画することで進めている。
- エ 役員会などの会合時間の短縮を行っている。

【逆瀬台】

- ア コミュニティルームが小学校の校舎の中にあることから、施設利用について子どもに影響が及ぶ可能性を最大限排除するため、必要以上の自粛体制を取ってきた。
- イ 役員会議については、2/2（日）以降自粛し、4月の定時役員会総会、6月の役員会は書面表決を行った。第1回の役員会は8/2（日）に実施した。3密を考慮し、地区のマンション集会室の中で最大の広さを持つグリーンハイツさんに会場借用をお願いし、窓を開け、手の消毒、検温、マスク着用をした上、会議時間も短縮して実施した。次回は10/4（日）に役員会及び「まちづくり計画」のソフト面の「見守り」をテーマに福祉ネットワーク会議を実施予定。
- ウ 広報誌「ゆずり葉だより」については、4月号、7月号を発行済。10月号を編集中である。
- エ 地域の活動については、6月に各活動団体責任者にアンケートを実施し、今年度の活動状況と今後の見通しを調査し、5役会で検討、役員会で承認を得て、各活動団体への支援を実施した。中止になった大きなイベントの余剰金の取り扱いについては市民協働推進課に相談予定。
- オ テレビ会議がうまくいくのであれば、Zoomを使うなど模索していきたいと思っている。

【すみれガ丘】

- ア 6月からテレビ会議を利用して運営委員会を始めた。テレビ会議に不慣れな方は、会議室に集まっていたいただき、慣れている方はテレビ会議で参加してもらうなど方法について試行錯誤した。今月から併用して実施できると考えている。
- イ テレビ会議の問題点として感じたのは、誰かがアカウントを取らなくてはならないが、会議時間無制限とするには有料アカウントが必要であり、支払い方法もクレジットカードとなること。また、会議室にネット環境が必要であるが、これも支払いがクレジットカード必要。レンタルもあるが非常に手間がかかる。加えて、オンラインで喋っている人の声と会議室で喋っている人の声をすべて聞こえるようにするのが非常に難しい。また、会議のホストとしてスキルのある方はまだいない状況である。

ウ 諸活動については、実施可能なものについては、対策を取った上で実施している。活動や参加の機会が減少しており、高齢者の生活不活発病が心配。

エ まちづくり計画については、毎月運営員会で報告を行っている。

【宝塚】

ア 4月以降活動は中止している。5月の総会は書面表決を実施。10人以下の少人数で密にならない執行部会議は毎月行っている。

イ まちづくり計画の企画部分については進めている。

ウ 会議室に網戸、消毒液、大型空気清浄機、名前・連絡先・体温を記入してもらうシートを設置。また、非接触体温計の購入も行った。このように環境が整ったので、9月から注意しながら活動を再開する。

【売布】

ア 年度初めに、今年度の活動・イベントは原則中止とすることを決めた。一方でこれまでの活動・イベントを見直すこととなった。

イ 会議については、8月の定例役員会を Zoom を使ってオンラインで開催した。オンライン会議の長所短所を検証中である。個人の費用負担が生じることをどうするか、また、役員にタブレットを渡すかなど模索している最中である。

【小浜】

ア 6月まで活動は中止。

イ 小浜まち協会館では、サーキュレーターや空気清浄機の設置、設置していたタオルの撤去等行った上、利用者は利用者名簿の記入及び机等必要な物品の消毒を行う形を取り、6月以降各部活動を実施している。

ウ 11/29（日）に規模を縮小した上で、水害に特化した防災訓練を実施する。

【美座】

ア コロナについては経験のないことで見通しが立たず状況判断が難しい。いつも使用している拠点も狭いため、人数を半分にしてしまうと使用するの難しい。活動はストップしている。

イ 会議についても月1回実施することになっているが、状況を見ながらどうするか検討していく。

ウ オンライン会議については、達者な人に限定されてしまうため、今できることとしては広報と考えている。広報誌において地域の人が興味を持つような啓発のようなものを皆で吟味しながらやっていきたいと考えている。

【安倉】

ア 役員会、運営委員会は通常どおり開催している。役員会は人数少ないので全員出席であるが、運営委員会は各自治会の役員や各団体の代表者の方が密にならないか心配されて出席者が少ない。

イ イベントはほとんど中止にしている。

ウ コロナだからといって何もしないというのもいけないと思う。皆さんと一緒に顔の見える環境づくりを目標にこれからも進めていきたい。

エ 総合福祉センターの大ホールを借りて、展示会を実施することを検討している。

【長尾】

ア 役員会は4月までは実施したが、5、6、7月は実施しなかった。

- イ 夏祭りは中止。その代わりに、東公民館で8/8（土）にミニフェスタで輪投げ、魚釣りゲーム、人形劇、紙芝居等を20～30人程度ずつに分けて実施した。
- ウ 秋祭りについては9月の役員会で開催の有無を決定する予定。
- エ 総会は書面総会で行った。

【中山台】

- ア 12月までの定例行事は中止。また、それぞれの自治会の祭り関係も中止になっている。
- イ 7月からの定例会議については、まちづくり計画やコロナ禍における災害対策計画が大事であることから、広い部屋でマイクを使用するなどコロナ対策を実施した上で毎月開催している。

【山本山手】

- ア 会議は、小規模で窓を開放して実施。また、Web会議、メールのやり取りの会議なども行っている。
- イ 総合防災訓練について、今年は、役員のみで防災備品のチェックを行おうと考えている。
- ウ 山手台中学校と行っているあじさいロードの清掃については、今年は中学校は参加せず、地域住民だけで行っている。
- エ どんど焼きについては、例年、1月の第2週の土曜日に凧揚げや餅つき、ぜんざいの配布とともに行っていた。今年はそれらを実施せず、どんど焼きだけを実施できたらよいと考えている。ただ、小学校のグラウンドが使えないということになると実施そのものができなくなるので、グラウンドの件については小学校と相談したいと思う。

【長尾台】

- ア 総会は書面表決で実施。お祭りも中止。
- イ 運営委員会も基本的には中止している。各種の部会や役員会については、消毒を行い、出席者名を参加者記載用紙に記載いただいた上、実施している。実施方法について他にどのような方法があるかご指導いただけたらと思う。

【西谷】

- ア 本年度の全体会議は現在までに2回実施。西谷会館夢プラザのプレイルームという広い部屋にて、コロナの感染状況に留意して開催している。
- イ イベントはすべて中止している。
- ウ 小委員会を開催し、移住の受け皿づくりの勉強会を行ったりしている。
- エ まちづくり計画の進捗状況を検証する3つの専門部会（①安心・安全、②文化・教育、③産業・環境）をこの秋に立ち上げて検証を行っていく。

(2) 意見交換

意見交換の概要は以下のとおり。

- ア 先ほどの未成まち協からの報告でもあったが、コミュニティで学校の施設を使っているところは多い。まち協から学校に聞いてから学校の施設が使えないと分かるという状態ではまずい。市民協働推進課からどういう状況になれば学校が使えるようになるのか発信してほしい。分かり次第、電話でもFAXでもなんでもよいのでご連絡いただきたい。
- イ （市）現在、まちづくり協議会等の団体の運動場や体育館の利用については、一律にご遠慮いただいている状況であり、その解除については、現在検討をしているところであると担当課から聞いている。ただし、どの段階で解除されるかは明確にはなっていない。

- ウ コロナ禍においては、避難所に5世帯しか入れないと聞いた。現状どのような状況になっているか調べてご連絡いただきたい。
- エ (市) 改めてご連絡いたします。
- オ 教育委員会の施設課にお願いしたのは、この20年間まちづくり協議会は学校の施設を使って活動してきたので、まちづくり協議会が学校の施設を使って活動することは十分分かっていること。まちづくり協議会が年間計画を立てる中でどの施設を使うかということは分かっているはず。そのような中で教育委員会が決めたことがまちづくり協議会に伝達されないということは、協働のまちづくりの観点から言うと少しおかしいのではないか。一方で、社会教育の登録団体については既に利用している。このような状況下でまちづくり協議会が利用できないというのも理屈に合わない。庁内で調整しながら管理担当部門がまちづくり協議会代表者交流会に出てきて説明してしかるべきではないか。
- カ 8/19(水)に五月台中学校で体育館を借りて何世帯が入れるか実寸を測ってみたところ、20世帯しか入れないことが分かった。災害対策も含め、学校に関する情報を早急に各まち協でつかんでおかないといけない。早急に情報提供いただける形になるようお願いしたい。
- ク 教育委員会の方針を確かめていただくということでお願いいたします。

3 令和2年度赤い羽根共同募金ご協力のお願いについて

社会福祉協議会から、配布資料に基づき、上記募金のご協力について説明があった。

4 市民協働推進課からのお知らせ

以下(1)～(7)について、資料を用いるなどして周知があった。

- (1) まちづくり協議会代表者宛て文書の送付方法について
 - 市民協働推進課から各代表者宛て文書について、メール送付を希望することも可能である旨周知。
- (2) まちづくり計画の配布について
 - 本日、市印刷分について配布を行う旨周知。
- (3) 部会活動への市職員の参加について
- (4) 「緑の募金」へのご協力について
- (5) 子育て支援グループ活動促進事業助成金の募集について(お知らせ)
- (6) 宝同協だより「芽生え」について
- (7) Zoomを利用したまちづくり協議会代表者交流会の実施について
 - 代表者交流会をZoomで開催できるか検討を進めていく旨周知。また、代表者交流会で実施する場合には、事前にZoomに慣れるための研修会等も行いたい旨周知。
 - 「環境が整っていないから実施しないとなるのではなく、市民協働推進課が実施できる環境を作っていく必要がある」旨のご意見あり。

5 その他

まちづくり協議会代表者から、公共施設の適正化及び太陽光発電に関する内容について、情報共有された。

次回日時：令和2年(2020年)10月14日(水)14:00～15:00 中央公民館203-204学習室

宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和2年度・第3回）議事概要

日 時 令和2年10月14日（水）14：00～15：25

場 所 中央公民館 203、204 学習室

出席者 仁川まちづくり協議会 綿 昭人会長
宝塚市高司小学校区まちづくり協議会 川島 昭会長
宝塚市良元地区まちづくり協議会 中 義昭会長
宝塚市光明地域まちづくり協議会 田村 幸雄会長
宝塚市未成小学校地域まちづくり協議会 加藤 富三会長
宝塚市西山まちづくり協議会 久保田 洋一会長
まちづくり協議会コミュニティ末広 豊田 茂男代表
宝塚第一小学校区まちづくり協議会 中谷 修会長
逆瀬台小学校区まちづくり協議会 石谷 清明会長
宝塚市すみれガ丘小学校区まちづくり協議会 川上 操代表
宝塚小学校区まちづくり協議会 喜多 毅会長
売布小学校区まちづくり協議会 笹田 光治会長
小浜小学校区まちづくり協議会 藤本 真砂子会長
宝塚市美座地域まちづくり協議会 梅村 諭代表
安倉地区まちづくり協議会 岡本 康夫会長
宝塚市長尾地区まちづくり協議会 （代理）阪上 良彦副会長
中山台コミュニティ 畑中 康治会長
宝塚市山本山手地区まちづくり協議会 北川 和人代表
宝塚市長尾台小学校区まちづくり協議会 松原 孝彦会長
宝塚市西谷地区まちづくり協議会 二井 久和会長
市民交流部 上田部長、藤本室長
市民協働推進課 吉岡課長、岡田係長 他
宝塚NPOセンター 馬越

議事概要（要旨）

1 宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和2年度・第2回）議事概要の確認

各まちづくり協議会代表者により、上記議事概要の確認が行われ、ホームページへの公開が承認された。

2 地域活動についての意見交換

- (3) 各まちづくり協議会代表者から、地域ごとのまちづくり計画の具体的な取り組みの実施や、コロナ禍で工夫していることや困っていることなどについて報告があった。

概要については、以下のとおり。

【長尾台】

ア 今のところ、まちづくり計画については進んでいない。コロナ禍における会議や行事の開催につ

いては、行政からもらっている資料を見ると、開催者に責任が及ぶと読み取れるので尻込みしている。年末くらいまでは動けないと考えている。

イ 10/1に初めて運営委員会を行った。また、その間に臨時役員会を2回実施した。

【美座】

ア 世間では収束に向かっている雰囲気だが、どうしても参加者に高齢者が多いため、慎重にならざるを得ない。月1回役員会をやっているが、その時の状況を見ながら検討していこうと話している。

イ 今のところ、河川敷の草刈りや出前児童館を一部実施しているが、他はできていない状況である。

ウ 青少年課からの委託事業の放課後教室もストップしている。青少年課から再開に向けてという文書も来ており、再開しないとイケない雰囲気を感じるが、どうしても心配してしまう。

【良元】

ア まちづくり計画の6つの重要項目の見直しと具体策をどうするかを考えている。実際に計画を進めていく際、コロナのことを踏まえてどのように進めていくべきかを考えている。

イ 第1ブロックで、来年以降も含めて仕事のやり方を変える。つまり、自分たちの活動についても、オンライン等を使って複合型の活動ができれば幅が広がるのではないかと考えている。ハイブリッド型のイベントや会議をできればよいという意見が出てきている。第1地区のネットワーク会議が今年は中止になっているが、2月末頃にハイブリッド型で再開したいと考えている。どのような器具を使ってどのようにやれば効果的かを考えている。

【光明】

ア これまでは、年3回、子どもたちと一緒にクッキングの会に取り組んできたが、今年はこれまで実施できていなかった。しかし、10月から取り組もうとなった。ただ、子どもたちと一緒に取り組むことはできないので、親が作り子どもたちが食べるという形になった。そして、食べる際も、円になって顔を合わせて食べるのではなく、外を見ながら食べてもらう形を勧めたとのことである。何とか実施できたということが第一歩であると考えている。

イ 年明けに毎年実施しているとんど祭りをどうするか考えている。他のまち協ではどのようにするのか教えてほしい。

【小浜】

ア 小学校のランチルームで活動している。会議等もランチルームで実施している。各部の活動も密を避けながら9月から再開している。

イ 11/29は、防災避難訓練を実施する予定。

ウ Zoom会議ができるようにパソコンを購入した。

【仁川】

ア 例年1月にとんど焼きを実施している。これが好評であるが、今年度については開催するか検討中である。今年はコロナで全面的に実施することは難しいと考えている。実施するかしないか迷っている。実施するなら縮小してとんどだけをやるという方法もあるが、それだけでは寂しい気もする。他のまち協がどうするのか聞きたい。

【中山台】

ア 7月から定例的な会議を毎月実施している。3密を防ぐために、中山台コミュニティセンターの多目的ホールでマイクを使って実施している。

イ 来年1月くらいまでの大きな行事は全て中止としている。コミュニティセンターの利用については、カラオケと料理教室は禁止している。他の教室は、三密を避けながら少しずつスタートして

いる。実際、今月の常任評議会も行事がないので決めることがないため、情報交換を実施している状況。

ウ 今月号の中山台コミュニティの広報誌で、小学校統合について1年間延期となった旨記載している。

【宝塚】

ア まちづくり計画について、実施予定だった3月のワークショップについて、9月に実施した。

イ まちづくり計画について具体的にどう進めるのかについての打ち合わせが10月から始まる。

【末成】

ア とんどについては、学校の運動場の使用許可がおりれば実施予定。ぜんざいを会場で提供することはやめ、持って帰ることができる形にする。学校の許可がおりたまち協があれば連絡してほしい。

イ 防災関係については、コロナ禍において避難所のレイアウトについて検討しているところである。

ウ まちづくりルールを作成するための勉強会を11月に実施する予定。

エ 福祉に関わる取組について、地域福祉ネットワーク会議で実施予定。

オ 寺子屋については、11月から実施予定。

カ いずれにしても、何もやらないのではなく、できることからやっっていこうとしている。

【長尾】

ア まちづくり計画について、6つの部会でそれぞれで進めていくという形である。

イ 防災部会においては、地区防災計画をまず作る。長尾は小学校が3校あるため、地区防災計画も3つ作らないといけないとなっている。

ウ 行事については基本的に中止となっている。特に市役所がらみの行事が中止となっている。中止は分かるが、中止の前段階で、実施するための提案が事前にあってしかるべきだと思う。

【西谷】

ア イベントはすべて中止している。とんども中止している。ただ、西谷の場合各地区で小さなとんどを実施しているので、全体のとんどが無くなっても、地区ごとのとんどは実施されると思う。

イ コロナで収穫祭等も無くなり、秋祭りも無くなった。上佐曾利のダリア園は非常に人が増えている。また、黒豆の収穫も通常通り行われている。

ウ まちづくり計画について委員会で議論を進めている。

【すみれ】

ア 会議は、6月から役員会、運営委員会を続けている。密にならないように実施している。

イ 幹事会については、50人近くになるので、会議室とリモートを併用して実施した。ちゃんと意見交換できたか分からないが、この併用で実施する形でもなんとか実施できると思った。

ウ 元の状態に戻りつつあるが、密を避けるということは守りながら進めていきたい。

エ 役員会はリモートで実施している。

【安倉】

ア 役員会は月1回やらせてもらっているが、大きなイベントは中止している。

イ 10/17に親子でさつまいもを収穫するイベントを開催することとしている。

ウ コミュニティのサロンは9月から開催している。参加者は少ないが、顔の見える関係を作っていたらと思っている。

エ 防災については、体育館やグラウンドを借りてという形はなかなかできないので、勉強会ができないか模索している。

【西山】

- ア 運営委員会は毎月やっている。
- イ 西山創造会議・ネットワーク会議・学校園安全対策委員会というのがある。11/29 に予定している。
- ウ まちづくり計画の印刷については、3つほどの自治会が全戸配布するとなっているため、今のところ、2100部ほど印刷しようとしている。
- エ 高齢の方の健康維持のため、介護予防体操教室や100歳体操などを距離を保った形で再開している。
- オ 学校園を見て回ることを考えている。
- カ 西山小学校のグラウンド利用は再開されているので、グラウンドゴルフなども再開する。
- キ 西山っ子遊ぼう会は12月末まで中止。

【高司】

- ア 運営会議はずっと行ってきた。例年小学校を使って実施していた文化祭の実施が難しくなったため、新しい企画として、地域の公園を使って子ども対象の輪投げやボウリングなど4箇所で開催することになった。100人規模で申込制にしたが、16人くらいしか申し込みがなかった。そのため、もう一度実行委員会を実施して、子ども向けで実施する旨を記載したビラを配ったところ、子どもが50人、大人が20人程度参加することとなった。野外で実施するので、ある程度三密を防げるのではと思う。また、当日の健康状態についてチェック項目を記載した用紙を作る。11月21日(土)に実施予定としている。何とかできることをできる範囲で実施したいと考えて計画をしていきつつある。

【売布】

- ア 会議は、部会も含めてできるだけ実施するようにしている。まちづくり計画に基づいて来年度の行事をどうするかを検討をしている。9月に一度、LINE防災訓練というのを行った。

【宝塚第一】

- ア 会議は通常通り開催している。
- イ 小規模行事については部会中心に活動を進めている。メインとしては、宝梅ハウスを防災拠点にしようかということについて、分科会を作り検討している。最終的には届出避難所にしようと考えている。ただ、実際に届出避難所を利用されているところは少ないとのこと。届出避難所については、責任がすべてまち協に来るとのことである。
- ウ コロナ禍の対策を考える勉強会を実施している。
- エ 今回、11/7に子どもたちを楽しませるために、トレジャーハンターのまちの歴史探索という楽しみを含んだ内容で実施しようと考えている。相当な人数になるので、マスク、消毒、検温、少人数グループでの実施等対策を行って実施予定。

【末広】

- ア 広報部会は月に1回集まって実施している。
- イ 地区の防災計画については、兵庫県から補助金を得たので、正式には9月からということをやっている。

【ゆずり葉】

- ア 8/2に第1回の役員会を開催した。内容はまちづくり計画に沿った活動団体への支援という内容であった。また、コロナ禍のステイホームの影響で子どもたちや高齢者が引きこもり状態と聞いている。皆で見守り強化しないといけないということで、10/4に福祉ネットワーク会議を開催し

た。形式としてはワークショップの形。会議室は100人のキャパであったが、50人ほどの参加者であった。コロナ対策のため、検温の実施、マスク着用、換気、席の間隔を開けるなどして実施したが、いざグループワークに入ると盛り上がってしまい、また、マスクをしているので声が聞こえにくいいため、どんどん席の間隔がせばまってきた。このような形になってしまったため、三密を避けることについて現在反省をしているところである。

イ 今後、まちづくり計画に従って、見守りについては何回かワークショップを実施していく。

ウ 防災や安全安心のまちづくりに関してもワークショップを実施していきたいと考えている。

エ インフラ関係については、直接市の担当の方に話をしていく。また、内容によってはまち協同士の間連携なども取っていきながら進めていきたいと考えている。

【山本山手】

ア 一番多くの方が参加する会議は2か月に1回あるが、今のところメール開催としている。本部会議は1か月に1回あるが、集まって開催している。

イ お祭りや行事については、とんどについて、協議の上、営利目的ではないこと、また、健康な体が大事であり来年も再来年もまちの集まりがあるということを踏まえて今年何をすべきかという観点から、とんどで焼くことはするが、お餅をついたり、豚汁配ったりすることはしない。また、誰が来たかを管理するために兵庫県のコロナ追跡システムも利用しながら実施する。

(4) 意見交換

意見交換の概要は以下のとおり。

ケ 一部行事を再開しているところもあるが、注意しないといけないのは、ソーシャルディスタンス、三密防止、検温実施という条件を満たせば絶対防げるということではない。行事をするなどというわけではないが、注意は必要であるということをお願いしたい。

コ 年1回学校は避難訓練をやるが、避難訓練に合わせて地域と一緒に防災訓練をやっているところはあるか。今回、学校側から地域と一緒に実施せず、学校側は学校側で実施したいという提案があった。そのようなまちづくり協議会はあるか。

サ うちでは、学校の方から依頼があって実施している。ただ、何十人も参加する形ではない。

シ うちでは、先に児童の避難訓練を実施し、その後、安全対策とPTAと一緒に避難訓練しながらそこで先生の話聞くという流れである。

ス それぞれの学校の考え方で違うのかもしれないが、児童と地域と一緒にやる部分が見送りとなってしまい、寂しいと感じている。

3 市民協働推進課からのお知らせ

以下(1)～(4)について、資料を用いるなどして周知があった。

(8) 宝塚市協働のまちづくり推進条例の制定について

(9) まちづくり協議会における個人情報の管理及び取り扱いについて

(10) 市民活動促進支援事業について

(11) 「お試しZoom会議」の開催について

4 その他

- (1) コロナ禍における避難所の収容世帯数の考え方について
市民協働推進課から資料を用いるなどして説明があった。
- (2) その他情報提供、ご意見

各まちづくり協議会代表者からの情報提供、ご意見については以下のとおり。

- ア 市の指定避難所は長尾台小学校であるが、レッドゾーンであるため避難できない。なぜレッドゾーンであるかという、宝塚市はお金がないので、側溝の泥をどける工事ができないためだということである。市に対してしっかりと申し上げないといけない。まち協代表者交流会の皆さんにも長尾台地区がこのような状態であることを理解いただきたい。
- イ 長尾中学校の柔道の顧問の先生が逮捕されたことがコミュニティで話題になった。既に懲戒処分を受けた人がまた顧問になって事件を起こしたということに対して、教育委員会はどうなっているのかという意見があった。この件についてはどうなっているのか。再発防止をお願いしたい。
- ウ (市) この代表者交流会の場に関係者を呼んで説明会を設けるということは想定していない。

5 今後の日程

次回日時：令和2年（2020年）11月11日（水）14：00～15：00

場 所：中央公民館 201-202 学習室

令和2年度 第4回まちづくり協議会代表者交流会

日時：令和2年（2020年）11月11日（水）14時00分～15時00分

場所：中央公民館201-202 学習室

1. 宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和2年度・第3回）

議事概要の確認（3分）

2. 意見交換（45分）

(1) 地域ごとのまちづくり計画の「具体的な取り組み」を協働で推進するための「対話」

の仕組みについて（案）

（30分）

◆ 市民協働推進課より、上記仕組み（案）について説明後、意見交換いただきます。

(2) Zoom 会議について（15分）

◆ お試しZoom 会議でZoom を利用した感想や、各まちづくり協議会でのZoom の活用状況について意見交換いただきます。

3. 市民協働推進課からのお知らせ（5分）

(1) 市民活動促進支援事業について

4. その他

5. 今後の日程

次回日時：令和2年（2020年）12月9日（水）14:00～15:00

場 所：中央公民館 203-204 学習室

令和2年(2020年)11月11日
まちづくり協議会代表者交流会 資料

地域ごとのまちづくり計画の「具体的な取り組み」を協働で推進するための
「対話」の仕組みについて(案)

Plan(共有、協議、事業計画)編

1 「対話」への流れ

地域ごとのまちづくり計画の「具体的な取り組み」の内、地域と行政が協働で取り組んでいくものについては、原則以下のパターンで推進していく。

(1) 地域と行政が既に対話を進め、実践している取り組み

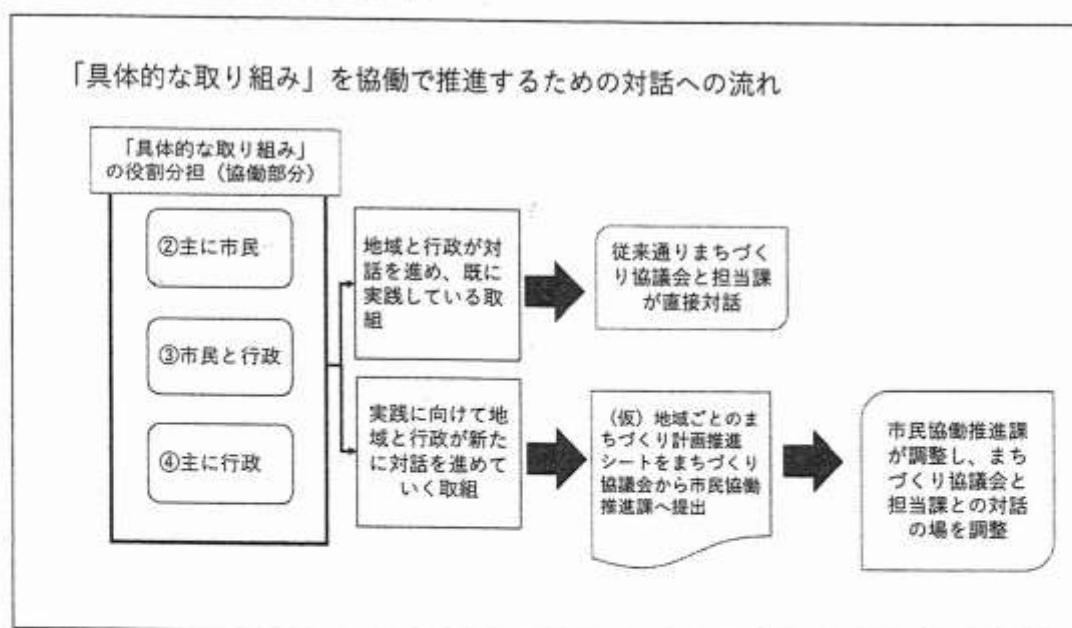
(【例】市の補助金制度を活用し、担当課と対話しながら既に実施している居場所づくり事業 等)

- ア 従来どおり、まちづくり協議会と担当課が直接関わり、事業を進める。
- イ 既に実施しているが、実践内容のさらなる充実に向けて、新たに市との対話の場が必要となる取り組みは(2)へ。

(2) 実践に向けて地域と行政が新たに対話を進めていく取り組み

(【例】〇〇公園の新たな有効活用に向けた、地域と行政の協議の場づくり 等)

- ア 次ページ3の「(仮)地域ごとのまちづくり計画推進シート」を使用して、地域と行政との対話を進めていく。



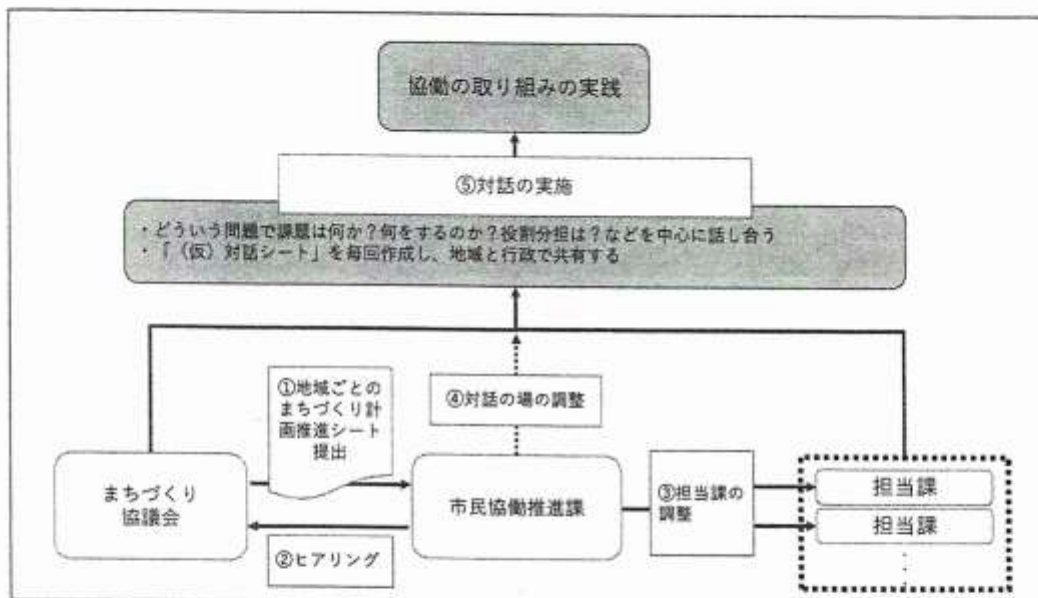
※ あくまで原則であり、地域と行政お互いの合意があれば進めやすい方を選択する

※ 計画の「新規」「継続」の区分も目安だが、必ずしも一致させなくてよい。

2 対話の実践に向けた準備

毎年度末頃に、市民協働推進課からまちづくり協議会へ、翌年度に実施したい「具体的な

令和2年(2020年)11月11日
まちづくり協議会代表者交流会 資料



＜まちづくり協議会と「具体的な取り組み」に関連する課との「対話」の進め方＞

- ・検討は「協働のマニュアルp4～p10」を参考に進め、お互いに気を付けるべき点を守りながら進めましょう。
- ・以下のことは特に気を付けるべきこととして参考にしましょう（協働のマニュアルより抜粋）

【お互い】

- ・協働の指針を確認し、心構えや協働の原則などを冒頭に確認しましょう
- ・市民と行政はそれぞれ立場が違います。互いの違いを認識し理解しましょう。
- ・参加者みんなが発言も立場も平等に、結論は全員の合意で進めましょう。取り組みを通じて積極的に互いの信頼関係を築きましょう。

【地域】

- ・市民団体にもそれぞれの得意分野があります。誰が担えばスムーズに進められるか最適な役割を分担しましょう。
- ・課題解決のために行政に安易に頼らないで、まずは市民や行政などが集まってみんなのできることを考えましょう。
- ・楽しさや充実感を味わえるような活動を目指して、計画は余裕をもった無理のない内容とスケジュールになるように心掛けましょう。

【行政】

- ・縦割り意識で自分の課は関係ないと言わないようにしましょう。
- ・行政が保有する情報は、市民に積極的に提供しましょう。
- ・関係各課と情報を共有し、庁内連携を図りましょう。

- ・最初からできない、予算がないなどと言わず、何ができるかから考えましょう。また、できないことを安易にできると言って信頼を損なうようなことはやめましょう。
- ・地域とのつながりがあれば課題に迅速に対応できます。地域との信頼関係を常日頃から構築する努力をしましょう。
- ・行政はスケジュールに余裕をもって柔軟に協議し、合意形成を図る努力をしましょう。

【以下、「実践編 (Do)」や「進捗管理編 (Check, Action)」等も今後追記していく・・・】